

第6学年2組 道徳科 学習指導案

令和 年 月 日 () 校時
 千葉市立 小学校 6年 組
 指導者 学級担任 (T1)
 栄養教諭 (T2)

- 1 主題名 食べ物を大切に
 内容項目 A-3 節度・節制
 教材名 「食べ残されたえびになみだ」(「みんなの道徳」小学校6年 学研)

2 主題設定の理由

(1) 主題について

本主題は、新学習指導要領の内容A-3「安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がけること」を中心の道徳的価値としている。

物質的に豊かになりすぎた現在、食べ物については「飽食の時代」といわれ、食べ物を粗末にしてはいけないという価値観が失われつつある。日本ではまだ食べられるのに捨てられている食べ物(フードロス)が約640万tあり、これは世界全体の食糧援助量を大きく上回る。まさに飽食の時代を象徴しているといえる。児童は食べ物を大切にし、節度節制に心がけることの大切さを頭では分かっている。しかし、実際には食べきれないほどの食べ物を与えられたり、残しても他に食べる物があるという現状から、食べ物を大切にできないことがある。

そこで、自分の食生活を振り返り、食べ物を大切にし、節度を守って生活しようとする心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態 (男子 名 女子 名)

本学級は給食をほとんど残さず食べている。しかし個々を見ると、好き嫌いや量が多いという理由で食べ残す児童もいる。また、食事の挨拶がしっかりとできなかったり、配膳が終わった台の上に食べ物がたくさん落ちていたりすることがある。調理実習でもこぼした食材をそのままにして、食べられる部分を捨ててしまうといった姿が見られた。

アンケート調査

質問	回答
1 食事を食べ残したことはありますか。	○はい 人
	○いいえ 人
2 残したことがある人はなぜですか。	○嫌いなものがある 人
	○食欲がない 人
	○体調不良 人
	○お腹がいっぱいになったから、食べきれなかった 人
	○量が多い、たくさんとり過ぎた 人
	○食べられない量を買ったり作ったりした 人
	○「絶対食べる」という気持ちがない 人
	○無理しても良くない 人
	○食べすぎても良くない 人
	○時間がなかった 人

3 残した時どう思いましたか。	<input type="radio"/> 作った人に悪い <input type="radio"/> もったいない <input type="radio"/> 申し訳ないけど…と思った <input type="radio"/> 仕方ない <input type="radio"/> 嫌いなものが出たからしょうがない <input type="radio"/> 工夫したり努力して食べよう <input type="radio"/> 残してはいけないと思った <input type="radio"/> 減らせばよかった <input type="radio"/> 食べればよかったなど心残りがあった <input type="radio"/> 切なかったなど思った <input type="radio"/> どうしようと思った	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人
4 残さず食べることが大切だと思いますか。	<input type="radio"/> 思う <input type="radio"/> 思わない <input type="radio"/> どちらとも言えない	人 人 人
5 食糧について日本や世界の問題を知っていますか。	<input type="radio"/> 食べ残しが多い <input type="radio"/> 分からない <input type="radio"/> 食糧不足 <input type="radio"/> 生産者の高齢化、後継ぎ問題 <input type="radio"/> 温暖化により野菜が育たない <input type="radio"/> アメリカのとうもろこし問題 <input type="radio"/> フードマイレージが高い <input type="radio"/> 輸入が多い	人 人 人 人 人 人 人 人

児童のほとんどが「食事を食べ残したことがある。」と答えている。質問2～4の回答から、食事を残したときに罪悪感を感じながらも、食べ物を粗末にせず、なんとかして食べようとする気持ちは希薄であると思われる。質問5の回答から世界の食糧問題について知っている児童が少ないことが分かった。

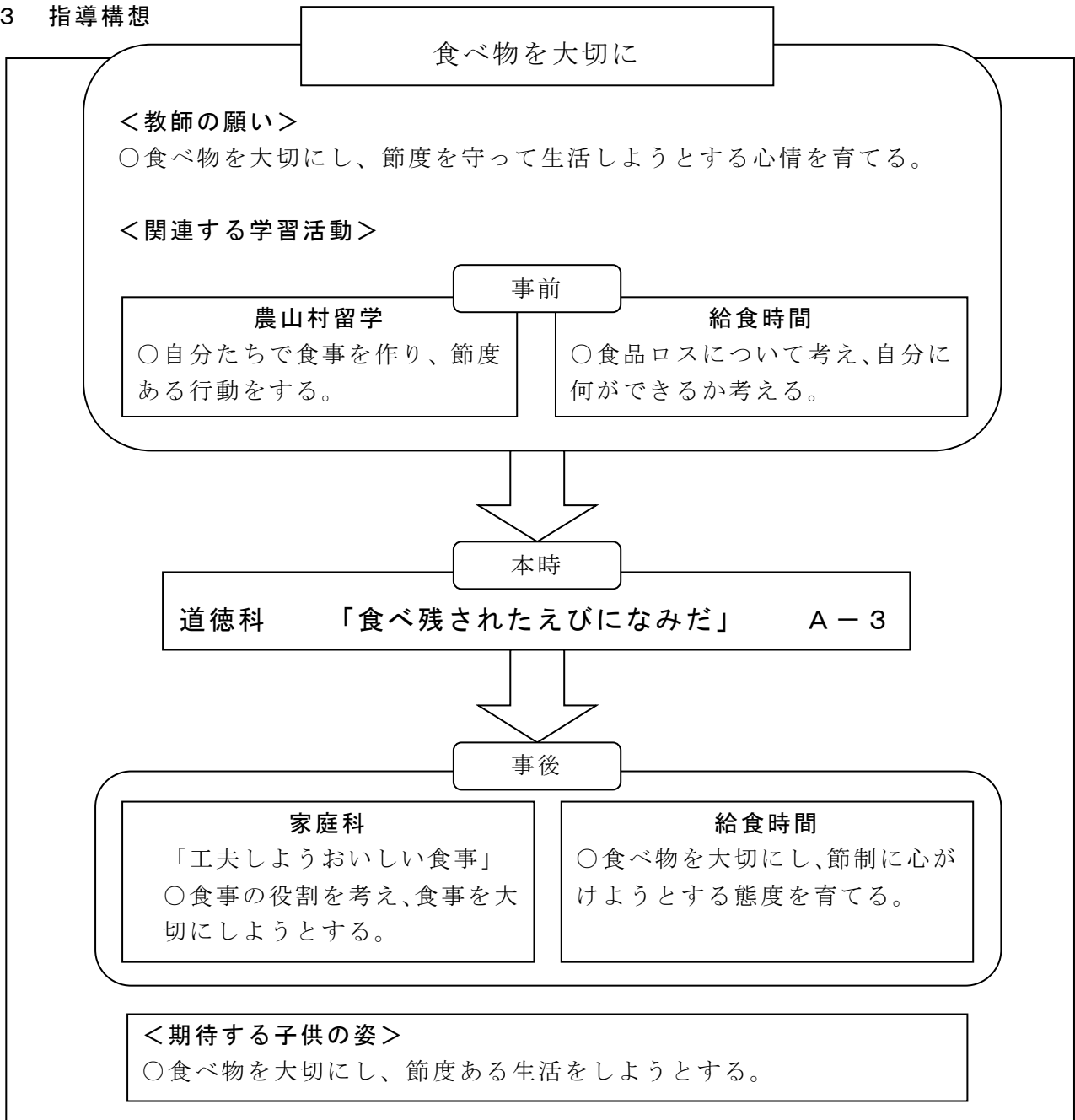
食に困った経験のない児童には、普段食べ物を粗末にしているという実感が分かりにくい。主人公の「お米は、農家の人の血とあせの結晶だから、ひとつぶたりとも粗末にしてはいけない。という教えは、まだあるのでしょうか。」という言葉は、普段の給食指導と重なり、自分のこととして考えることができるだろう。外国人の目を通して、日本の食生活の実態を訴える本時の教材は、児童に強い印象を与えるはずである。ここでの日本の食生活が、自分たちの食生活であることに気付き、食べ物を大切にすることについて、世界の食糧問題にも目をむけさせながら考えさせたい。

(3) 教材について

日本の大学に入るため、タイから来日した「わたし」は、日本の生活を知るために日本人と同じようにやってみよう、感じてみよう、と心がける。外国人に馴染みのない納豆や刺身を食べることで、食べ物に関する考え方、感じ方を理解するが、「お米は、農家の人の血とあせの結晶だから、ひとつぶたりとも、粗末にしてはいけない。」という教えに疑問を感じる。

来日してから、「わたし」はいろいろなパーティーで残されたえびをたくさん目にする。留学する前日、養殖しているえびを生活のため、息子にさえ食べさせることのできなかつた父の姿を思い出し、「わたし」の目には涙が込み上げてくる。「もの」のありがたさ、大切さについて訴えかける内容である。

3 指導構想



4 食育の視点

感謝の心（食べ物を大事にし、食料の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ。）

人々の生活は昔から動植物などの自然の恩恵に支えられて成り立っていることや生産・流通・消費など食に関わる人々の様々な活動に支えられていることに気づき、環境保全や食品ロスの視点も含めて、感謝の気持ちや食べ物を大事にする心を育むことが求められている。

5 学習効果を高めるための栄養教諭の手立ての工夫

当日の給食にえびを使用することで、教材に出てくるえびが普段自分たちも食べているえびであることに気付くはずである。そこから教材の日本の食生活が自分たちの食生活であることにも気づき、自分のこととして捉えることができるだろう。

導入で身近な給食の残菜について、写真を提示しながら話すことで、本時の学習に関心を持つことができると考える。

6 本時の学習

(1) ねらい 自分の食生活を振り返り、食べ物を大切にしようとする心情を育てる。

(2) 展開

過程	学習活動と発問	教師の支援○と評価◎(T1)	教師の支援(T2)	資料
導入 5分	1 給食の残菜の様子を見る。 ・たくさん残っている。 ・もったいない。	○学習の内容に関心を持てるようにする。	○写真の説明をする。	○給食の残菜の写真
展開 前段 23分	2 教材「食べ残されたえびになみだ」を聞き、話し合う。 ○「これは日本人のもので、おまえのはこっちだ」と言って小さなえびをくれた時、わたしはどのような気持ちだったでしょう。 ・大きいえびが食べたい。 ・日本人はいいな。 ・日本人はそんなに偉いのか。	○食べたくても食べられなかった「わたし」の気持ちをおさえる。 ○本当は大きいえびを食べさせたかった父の気持ちをおさえる。	○場面絵を提示する。	○場面絵 ○実物のえび
	◎たくさん残されたえびを見て涙がこみあげてきた時、わたしはどのような気持ちだったでしょう。 ・食べたくても食べられない人もいるのに。 ・作った人のことも考えてもっと大切にしてほしい。 ・飢えで苦しんでいる人もいるのに、なんて贅沢なんだ。	○父が大事に育てたえびが捨てられていた時の悲しみ、怒りに共感できるようにする。	○場面絵を提示する。	○場面絵 ○ワークシート
展開 後段 9分	3 今までの生活を振り返り発表する。 ○今まで「いただきます」「ごちそうさま」をどのような気持ちで言ってきましたか。 ・特に考えてなかった。 ・ありがとうの気持ちを込めて言っている。 ○今まで食べ物を大切にできたこと、できなかったことはありますか。 ・おなかがいっぱいで残してしまった。 ・ふざけていて料理をこぼしてしまった。 ・お米一粒残さないように食べている。	○「いただきます」「ごちそうさま」を言っている場面を思い出させる。 ○自分自身の経験を想起し、食べ物大切さについて考えさせる。	○食べ物が作られるまでに多くの人や命が関わっていることを確認する。	○ワークシート

<p>終末8分</p>	<p>4 栄養教諭の話聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスは一人あたりにすると、毎日お茶碗一杯分になる。 ・食べ物を捨てることは食品を作るまでに使われた資源や、人の労力も無駄にする。 <p>5 今日の学習を振り返る。</p> <p>○今日の学習を通して学んだこと、改めて分かったこと、生かしていきたいことを書き、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源や環境を無駄にしないためにも、食べ物を残さないようにしたい。 ・作っている人や飢えで苦しんでいる人のことも考えて、お米一粒も大切にしたい。 	<p>○世界の食糧問題についても考えさせる。</p> <p>○ワークシートに自分の考えをまとめ、今後の生活につなげられるようにする。</p> <p>◎食べ物を大切にしようと思えることができたか。</p>	<p>○食品ロスについてや、食べ物の廃棄が資源を無駄にすることを伝え、食べ物を大切にすることを考えさせる。</p> <p>○机間指導して児童の意見を把握する。</p>	<p>○廃棄される食べ物の写真</p> <p>○食品ロスに関する資料</p> <p>○ワークシート</p>
-------------	---	---	---	---